

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立登美丘高等学校
取り組む課題	キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	1 学校教育自己診断における生徒の授業満足度及び家庭学習度の向上 2 国公立、難関私立、看護医療など、生徒の細やかな希望に沿う進学実績の向上
計画名	「Challenge & Hospitality」の実現 ⇒ オンライン授業 Pjt 「タブレット授業に挑戦・オンラインでの家庭学習時間にも寄り添うきめ細やかなホスピタリティの向上」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1. 授業の充実と進路の実現</p> <p>(1) 「わかる授業」「学力がつく授業」「進路に結果を出す授業」に取り組む</p> <p>① 「着想・展開・発表する力」を育む取組みを進める。</p> <p>－アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた能動的な学習法を追求する。</p> <p>－発表の舞台を作る。（学級読書会、英語プレゼン大会、情報プレゼン発表など）</p> <p>(2) 進学実績の向上</p> <p>① 「授業・自学自習（≒週末課題）・講習」の一体化と充実を図る。</p> <p>② 「自学力」の育成ーもっと学びたい生徒のための環境づくりに取り組む。</p> <p>③ 「国公立志望・看護医療（公務員）希望」ー国公立進学希望者の進路を実現させるとともに生徒の細やかな希望に応える体制づくりを行う。</p> <p>2. 主体性・挑戦心と思いやり・気配りの精神の涵養</p> <p>(1) 「主体的・挑戦的に行動する心」を育成するとともに、「人を思いやることの大切さ」を実感させる。</p> <p>① 勉強と部活・行事の両立 ー学習・生活習慣・多様性・挑戦心の育成。</p> <p>② 生徒会活動の自主運営 ー学校祭等の自主企画・運営を行い、生徒に多様な集団活動運営で味わえる成就感、達成感を体験させる。</p>
事業目標	<p>「令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境」に備え</p> <p>① 教員がタブレットを使用したICT授業及びオンラインで課題提供・課題サポート・授業推進する技能の習得・実践を行う。</p> <p>② 生徒がモバイル・PCで授業及び家庭学習を行い、希望する進路の獲得確率を上げる。これを実現することにより「授業満足度」「家庭学習度」を向上し、めざす進路獲得＝進学実績の向上を図った上で、中堅校の1人1台端末時代のモデルパターンを作る。</p>
整備した 設備・物品	<p>タブレット iPad mini 32台</p> <p>プロジェクタ（特別教室） 4台</p> <p>Wi-Fi アクセスポイント 6拠点</p>
取組みの 主担・実施者	<p>主 担： オンライン授業委員会（教務部長（委員長）、首席、管理職、各学年からの代表者1名）</p> <p>実施者： 全教員</p>
本年度の 取組内容	1) オンライン教育理念の設定「骨子」

	<p>第一義は「コンタクト」、「常に傍にいる」ことを、登美丘オンライン教育の基本とする。</p> <p>① グループウェア、ICT を生かした機能的な校務運営に務める。</p> <p>② 全教員が授業内容を配信できるようにした。（コロナウィルス感染等の出席停止者に対してオンライン授業を行った。）</p> <p>2) 環境設定はタブレットを既購入・昨年度に引き続き、探究で「ズームディベート会議」「ズームキャリア講演」等で使用を多くの場合で行った。</p> <p>3) 全教員がタブレットを利用した授業を行えるように、職員会議等で研修を行った。</p> <p>4) G Suite は 205 授業講座 オンラインでの予習・復習に使用し始めている。</p> <p>5) プロジェクタを使用した ICT 授業用の PC に加えて、グーグルミートを利用した（授業風景を映す）を行うことができたが、今後は、授業でのタブレットとクロームブックの利用が促進していきたい。</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>1 ・ 学校教育自己診断（生徒）「授業はわかりやすい」の肯定率を 85%以上（R3 :84%）</p> <p>・ 学校教育自己診断（保護者）「1日1時間以上家庭で学習している」56%（R3 :57%）</p> <p>2 共通テスト受験者 140 名以上（R3 :133 名）国公立大学現役合格者数 12 名（R3 :5 名） 関関同立現役 50 名（R3 :66 名）産近甲龍現役 150 名（R3 :202 名）</p>
<p>自己評価</p>	<p>1 ・ 学校教育自己診断（生徒）「授業はわかりやすい」の肯定率…………… 82% ……（△）</p> <p>・ 学校教育自己診断（保護者）「1日1時間以上家庭で学習している」 52% ……（△）</p> <p>2 ・ 共通テスト受験者 ……………… 101 名…（△）</p> <p>・ 国公立大学現役合格者数 ……………… 5 名 ……（△）</p> <p>・ 関関同立現役合格者数 ……………… 81 名…（○）</p> <p>・ 産近甲龍現役合格者数 ……………… 263 名…（○）</p> <p>一昨年度にタブレット iPad mini が導入され、教員側に活用し、生徒には、Chromebook を活用した。授業においては、1年生の「英語のプレゼン大会」、2年生の「ズームでのキャリア講演」等で活用し、生徒も参加して行うことができた。</p> <p>昨年度に続き、全生徒に対して「ズームでのキャリア講演」、「行事（始業式・終業式）」などを行うことができた。</p> <p>また、学園祭に向けての取り組み内容にもタブレットを活用した調べ学習等が行われた。</p> <p>全教員がタブレットを利用して授業を行い、オンライン上で宿題を出せるようになった。音楽・美術・書道・家庭科においても、特別教室にて、普通教室同様 ICT を利用した授業ができるようになり、教員の ICT 活用が進んだ。</p>
<p>事業のまとめ</p>	<p>登美丘オンライン教育の基本理念のもとタブレットを活用し探究授業での「ズームディベート会議」「調べ学習」等で使用し多くの授業で活用できるモデルを作っていく。</p> <p>全教員がタブレットを活用した授業ができるようにし、またオンライン上で宿題を出せるようにする。</p> <p>特別教室に設置した、プロジェクタを活用した授業の充実を図る。</p>